

江戸の医から、未来を眺める。

「仁」とは“他を想う心”である。

仁術は

特別展



カルペパー型
国産顕微鏡

原洋進齋蒔絵薬箱



エレキテル

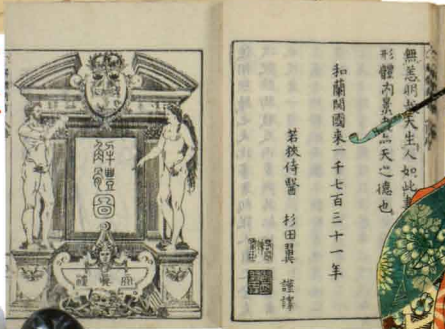
華 岡青洲

世界初となる全身麻酔による
乳ガン摘出手術を成功させた。

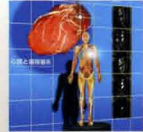


4次元CTスキャナ

解新書
杉田玄白らによって
3年の月日をかけ、翻訳
出版された西洋解剖書。



プロジェクションマッピングで
体の仕組みがわかる!



超リアル



体感

3Dプリンター
による臓器モデルを
触ってみよう!

飲食・房事
養生鑑

身体の働きを擬人化し、臓器の役割を紹介。

ヒトiPS細胞
固定標本 実物
展示



鉄拳シアター
「受け継がれる仁」

オリジナルパラパラ漫画を上映

スペシャルナビゲーター
大沢たかお



2014年
3月15日 土 — **6月15日** 日 国立科学博物館 (東京 上野公園)
開館時間: 午前9時 — 午後5時 (金曜日は午後8時まで) 休館日: 毎週月曜日、5月7日(水)

※入館は各閉館時刻の30分前まで。 ※4月26日(土)~5月6日(火・休)の間は午後6時まで。ただし、5月2日(金)は午後8時まで。 ※3月24日(月)、3月31日(月)、4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開館。
※諸情勢により、開館日・開館時間等について変更する場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。

主催: 国立科学博物館、TBS、朝日新聞社 後援: 文部科学省、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本医学会、日本医史学会、日本解剖学会、BS-TBS、TBSラジオ
協賛: 順天堂大学、ファソテック 協力: オリジナルメディカルシステムズ、東芝メディカルシステムズ

医の原点は江戸にあった!

新発見! 『杉田玄白の直筆の漢詩』『日本最古の解剖原図』世界初公開!

【第一章】

病は、いつの時代も、身分の貴賤なく、人々を襲う。

病は、貴賤貧富の別なく、人々を襲う。日本がまだ、医の知識も、医の技も未熟であった時代に、人々は病を恐れ、神に祈り、自然の成り行きに任せる他に、その苦しみから僅かにでも逃れるすべが無かった。健康と長寿を願う、季節や年の節目に祈り、子供の成長に感謝し、疫病にからぬよう、人々が行ってきたことは、今も日本各地に残る風習や物の中に、実に多く残されている。

「大宅太郎光国妖怪退治之図」

歌川国芳画。天保7年に上演された歌舞伎の一場面、ガイコツ図は骨の数や前腕骨などが正確に描かれ、解体新書以降に一般にも広まった解剖図を参考にしたものであろう。



医は仁術

【第二章】

和魂漢才・和魂洋才の医

平和な江戸時代の中で、東西からもたらされた様々な医の知識と技術が、和魂漢才、和魂洋才の精神で学ばれ、活かされた。他を想いやる「仁」は、洋の東西を問わず、医の基本であるが、とくに日本では「和」を尊び、気配り、気遣い、思いやりが社会、文化の根幹としてあり、仁術としての医は、江戸時代において人々が安心して社会生活を営む基本的理念となったのである。

「新宮涼庭薬箱」

新宮涼庭は京都の蘭医。本薬箱にはオランダ語で「医は自然の奴隷なり」とあり、西洋の医学観が見られる。

「救民妙薬」元禄6(1693)年

水戸徳川家二代藩主徳川光圀が、一般民衆の病氣救済と養生のために、藩医穂積甫庵に命じて編纂し、出版させた。

(徳川ミュージアム所蔵 © 徳川ミュージアム・イメージアークイブ / DNPartcom)



「奥田木骨」

文政3(1820)年に大坂の医師奥田万里が池内某に製作させ尾張藩に献納したもの。



【第四章】

近代医学と仁

明治政府は、明治2年にドイツ医学をモデルとして大学東校(現東京大学医学部)を設立し、西洋医学を中心とした医学教育を開始する。その責任者であった佐藤尚中は、基礎医学的要素の強いドイツ医学が臨床医学を重視していかないこともあり、官職を辞して順天堂医院を設立し、臨床医療の実施に努めた。

東から西から

【第一章】

日本における医は、東や西から伝えられた医療が、江戸時代という平和な世のなかで融合し、他の国には見られない日本独自の発展を遂げたものである。「医は仁術」という理念は、「神農」や「ヒポクラテス」に示される如く、洋の東西を問わず変わらない。しかし、平和であったが故に、より彼我の国々に比べ、日本の「仁」は理念、理想としてだけでなく、実際に医師らにより人々に実践されたのである。



「依ト加刺得私之像(ヒポクラテス像)」

ヒポクラテスは古代ギリシャにおいて実証的な医療を行い、西洋で医聖と呼ばれた。大槻玄沢が「重訂解体新書」で紹介し、蘭学者の間で流行した。

現代の医

【第五章】

医の歴史は、人体を知る歴史でもあった。江戸時代の腑分けに始まり、解剖して人体の構造、病気を調べて来たが、現在は技術が発展し、内視鏡、CT、MRIなど体を切ることなく体内を見ることができるようになった。第五章ではこれらの成果をプロジェクトジョンマップや3Dプリンターによる臓器モデルで紹介する。また、最先端医学として関心の高い「多能性細胞」の中で、ヒトiPS細胞の実物(固定標本)を展示する。

特別講演会

国立科学博物館・日本館2階講堂

●3月30日(日) 13:30~15:00

『「医は仁術」について』

酒井シヅ(順天堂大学特任教授)・村上もとか(「JIN - 仁 -」著者)・石丸彰彦(TBSテレビ「JIN - 仁 -」プロデューサー)

●4月12日(土) 13:30~15:00

「21世紀の仁術 ~いのちに触れる最先端医療~」
杉本真樹(神戸大学大学院医学研究科/特命講師 医師・医学博士)

●5月10日(土) 13:30~15:00

「iPS細胞技術を活用した未来の医療について」
岡野栄之(慶応義塾大学医学部生理学教室教授)

※参加方法など詳しいことは、公式ホームページでご確認ください。

仁術は

一般・大学生1,500円(1,300円)、小・中・高校生600円(500円)

※()内は前売および各20名様以上の団体料金。

金曜限定ペア得ナイト券2,000円

※2名様同時入場/男女問わず。※午後5時~午後8時/最終入場は午後7時30分。※会場での当日販売のみ。

※常設展もご覧いただけます。※未就学児は無料。※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名様は無料。※前売券の販売は、1月10日(金)から3月14日(金)まで。※チケット販売:国立科学博物館、公式ホームページ、イープラス、ローソクチケット、チケットぴあ、セブン-イレブンなど各プレイガイドその他お得なチケット情報は公式ホームページをご覧ください。

お問い合わせ 03-5777-8600(ハローダイヤル) 公式ホームページ <http://www.ibajin.jp> [TBS 医は仁術 検索]

○JR「上野駅」公園口から徒歩5分 ○京成線「京成上野駅」から徒歩10分 ○東京メトロ銀座線、日比谷線「上野駅」から徒歩10分

※駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください。

